

環境産業委員会会議録

- 1 期 日 令和4年3月1日(火)
- 2 会 場 第2委員会室
- 3 開会時刻 午前9時39分
【休憩 10:40~10:44、11:35~11:39、
11:59~12:57】
- 4 閉会時刻 午後1時35分
- 5 出席者 委員長 藤原 正光 副委員長 松浦 昌巳
委員 山本 裕三 委員 大井 正
委員 安田 彰 委員 石川 紀子
(当局側出席者) 協働環境部長、都市建設部長、産業経済部長、
上下水道部長、産業経済部参与、都市建設部参与
所管課長
(事務局出席者) 議事調査係 松永友理子
- 6 審査事項
- ・議案第44号 令和3年度掛川市一般会計補正予算(第14号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第2款 総務費(第1項のうち所管部分)
第4款 衛生費(第1項を除く)
第5款 労働費
第6款 農林水産業費
第7款 商工費
第8款 土木費
第10款 教育費(第5項のうち所管部分、
第6項1目・2目・3目)
 - ・議案第49号 令和3年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第1号)
について
 - ・議案第50号 令和3年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算
(第2号)について
 - ・議案第52号 令和3年度掛川市水道事業会計補正予算(第2号)につい
て
 - ・議案第53号 令和3年度掛川市公共下水道事業会計補正予算(第3号)
について
 - ・議案第54号 令和3年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算(第3号)
について
 - ・議案第55号 令和3年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算
(第2号)について
- 7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

令和4年3月1日

市議会議長 松本均様

環境産業委員長 藤原正光

議 事

午前 9時39分 開議

○委員長（藤原正光） 皆さん、おはようございます。

3月1日ということで、高校生は卒業式も行われているところでございます。いろいろ慌ただしくなってきました。

それでは、議会に続いて、環境産業委員会を開会したいと思います。

今定例会におきまして、当委員会に付託されました議案は、分割付託されました議案第44号 令和3年度掛川市一般会計補正予算（第14号）をはじめとして計7件であります。よろしく御審査お願いいたします。

審査に入る前に、1点御了承いただきたい点がございます。

通常、議案番号順に審査を進めていくべきですが、効率よく議事を進行するため、お手元に配付してある審査順序にて審査を進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、私から2点御連絡申し上げます。

初めに、当局から説明資料の配付について申出があり、許可いたしましたので、お手元に配付してあります。

次に、発言の際には挙手の上、委員長の許可を得てから、必ず自席のマイクのスイッチを入れてから発言するようお願いいたします。

また、質疑においては、まず議案等のページ及び款項目等を示し、疑問点を明瞭に発言することとし、答弁も簡潔に分かりやすくお願いするとともに一問一答方式でお願いいたします。

議案に関係のない質疑や意見は控えていただきますようお願いいたします。

それでは、審査に入ります。

議案第44号 令和3年度掛川市一般会計予算（第14号）、第1条、歳入歳出予算の補正のうち、歳入は当委員会所管部分及び歳出中、第2款総務費、第1項のうち所管部分、第4款衛生費、第1項を除く、第5款労働費、第6款農林水産業費、第7款商工費、第8款土木費、第10款教育費、第5項のうち所管部分を除く、第6項1目、2目、3目を議題とします。

初めに、高柳産業経済部長より、当委員会の全体に関わる人件費の補正について概要説明をお願いいたします。

高柳産業経済部長。

○委員長（藤原正光） ありがとうございました。

人件費補正について、概要説明をいただきました。

ただいまの産業経済部長の説明に対する質疑をお願いしたいと思いますが、ございますでしょうか。

〔「特にありません」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、質疑を終結します。

次に、高柳産業経済部長より、当委員会の全体に関わる公共施設の電気料の補正について概要説明をお願いいたします。

高柳産業経済部長。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

伝え忘れてしまいましたけれども、松永環境政策課長にも同席をいただいております。

それでは、ただいまの産業経済部長の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思いません。

山本委員。

○委員（山本裕三） 新電力、いろいろ市場も大変だなということで出て、浜松も新電力会社を持っていると思うんですが、同じような現状なのか、また、もし情報があれば教えてください。

○委員長（藤原正光） それでは、松永環境政策課長。

○環境政策課長（松永真也） 浜松は、我々の市場連動方式とはちょっと違う形態を取っております。詳しい補正額等は聞いておりません。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） そのあたり、また他市の状況もぜひお伝えいただいて、いろいろ研究をいただきたいと思いません。

○委員長（藤原正光） そのほか、委員の皆さんいかがですか。

それでは、松浦副委員長。

○副委員長（松浦昌巳） 電気代の高騰というのは、一番心配していることだったんですけども、今回燃料も上昇していますしね、いろいろな状況で値上がりしているのは承知していますけれども、今後の対策、これからどんなふうにしていくのか、お考えをお聞かせください。

○委員長（藤原正光） 松永課長。

○環境政策課長（松永真也） やはり、燃料の高騰が現時点では引き続き上がっていくとか、上がるとき、現状維持というのが一般的な見解になっております。やはりこの施設の中で、これからはかなり高い電気料金を払わなければならないような施設、いわゆる電気の負荷率が高い施設、

一般会計ではないので、例えば上下水道のような電気料金の負荷率が高いような場所、こういったところにつきましては、やはり他社と電気料金を見比べながら、そこは切替えも視野に入れながら検討していくという必要はあるのかなというふうに思っております。

○委員長（藤原正光） 松浦副委員長。

○副委員長（松浦昌巳） そうしますと、施設によって市場連動型にしたりとか、何か元に戻すような、そういったことができるのか、掛川市全体として、契約上、それは無理なのか、そういうところをちょっと教えてください。

○委員長（藤原正光） 松永課長。

○環境政策課長（松永真也） かけがわ報徳パワーが扱う、いわゆる電気料金プランというのはまずは報徳パワーそのものを潰さない、安定経営させるということで市場連動方式、最初にいわゆる利益の部分を確認する方式を取っておりますので、報徳パワーがやるとしたら、市場連動しかないわけです。ですので、先ほど、私が他社と言ったのは、それ以外のいわゆる従量料金制の大手の電力さんが扱うような電力の中で料金を比較しながらやっていくということが必要だというふうなことで申し上げたんですが、皆様も御存じのとおり、他社のいわゆる大手の電力会社さんも燃料調整費と言われている天然ガスとか、石炭とか、いわゆる化石燃料等の輸入に関する調整費がかなり上がっておりますので、基本的にはそれほど大きな差がこの後、市場連動とのところで出てくることはないのかなというのが一般的な学識経験者の見解ですので、その辺の世界的な動向も視野に入れながら、きちんと見極めてやっていくということです。今、委員が言われたとおり、市場連動型と、それから従量料金制、この両方のプランが同じ公共施設の中で出てくる可能性はあると考えていただければ結構だと思います。

○委員長（藤原正光） 副委員長、よろしいですか。

○副委員長（松浦昌巳） ありがとうございます。

○委員長（藤原正光） では、富田委員、お願いします。

○委員（富田まゆみ） 御説明ありがとうございました。

最初に、11月までは1キロワットアワー当たり7円から10円であったものが11月以降は1キロワットアワー当たり21円ということで上昇したということですが、これが従量制であった場合は幾らくらいだったんでしょうか。この単価をちょっと教えてください。

○委員長（藤原正光） 松永課長。

○環境政策課長（松永真也） こちらは、あくまでも予測という形の範囲でしか言えないんですけども、中部電力さんは今年度当初から12円から13円ぐらいを指しておりました。一概に比較はで

きないんですけれども、中部電力さん等ですと3か月遅れで市場の状況が料金に反映されます。おむね単価としては2円とか3円ぐらいはやっぱり違う月もありますし、先ほどの部長の冒頭の説明で21円というふうなお話がありましたが、そこと比べたらやはり大手だと8円9円、これぐらいの差が出ているというふうに我々は見えております。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

○委員（富田まゆみ） はい。

○委員長（藤原正光） そのほか、委員の皆さん、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、質疑を終結します。

続いて、各担当課から所管する歳入歳出部分について人件費を除いて説明をお願いしたいと思います。

最初に、お茶振興課の説明をお願いします。

松本お茶振興課長。

○委員長（藤原正光） 松本課長、ありがとうございます。

ただいまのお茶振興課の説明に対する質疑がございましたら、ここでお願いしたいと思います。

質疑はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、質疑を終結します。

お茶振興課、ありがとうございます。

それでは、続いて観光交流課の説明をお願いします。

観光交流課の高野観光交流課長、お願いします。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

ただいまの観光交流課の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思います。

質疑はございますでしょうか。

山本委員。

○委員（山本裕三） 砂の祭典でしたか。

○観光交流課長（高野留美） はい。

○委員（山本裕三） いつも何か砂がなくなっちゃっていて、砂を入れるみたいなことですがけれども、今年、じゃ、全額返ってきたということは砂を入れていないということか。

○委員長（藤原正光） 大久保係長。

○観光交流係長（大久保朋芳） 今年度については、事業等に実施したという報告を受けていませんので、全面的に砂の祭典の事業はやっていないということでお伺いしています。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） となると、数年砂を入れていないということになるにしても、私も詳しくないので、あまりすみません、分からなくて。

○委員長（藤原正光） 大久保係長。

○観光交流係長（大久保朋芳） すみません、ちょっとそこまで詳しく商工会のほうには確認していませんので、またちょっとそこは確認します。すみません、その砂は2年、結局入れているか、入っていないかというところはちょっとまだうちのほうでは把握がそこまではできていませんので。

○委員（山本裕三） はい、分かりました。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） もし、万が一、しばらく入れていなかったら、来年というか本年か、開催する際にはかなり多くの砂を入れる可能性があるのかなと思うので、通常の、またそこは商工会側と話し合っただけならと思うんですが、もしかしたらふだんよりは少し多めの砂が必要になって、ちょっとすみません、詳しくないので、予想の、予測の範囲ですけれども、そんなことでした。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

富田委員、お願いします。

○委員（富田まゆみ） 健康ふれあい館事業のところでも質問させてください。

今回は、固定資産の確定による減額ということだったんですが、地元との借地に関する減額の調整とか、その辺は今どんなような形で進んでいるのでしょうか。

○委員長（藤原正光） お答えできますか。

大久保係長、お願いします。

○観光交流係長（大久保朋芳） こちらの国安の土地の計算方法は、まず、単価掛ける面積と固定資産税分ということで毎年計算しているものですから、その差額を今回は減額させていただいているんですが、全体的なこの契約期間は今、契約のほうはまだ令和10年度までは一応残っているというところで、まず、その単価とか金額等について現状として、国安財産区のほうと減額等をしてもらいたいとかという話のほうまでは現在はおしていません。

○委員長（藤原正光） 富田委員。

○委員（富田まゆみ） 民間譲渡をする際に、やっぱり土地の借上料について市が民間に譲渡した後もそこを払わなきゃいけないのかとあって、かなり大きな課題だったと思うんですよ。それで、市として、借上料については地元と折衝していくということで話を伺っていたので、譲渡の後、進

んでいるのかということで今質問させていただきましたが、今のお答えですと、じゃ、全然進んでいないということでしょうか。

○委員長（藤原正光） 高野観光交流課長。

○観光交流課長（高野留美） すみません、今のところ動きはないんですけれども、また、企画政策課のFMのほうと話をしながら、そこは進めさせていただきたいと思います。

○委員長（藤原正光） そのほか、委員の皆さん、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、質疑を終結します。

観光交流課、ありがとうございました。

よろしいですか。それでは、続いて農林課の説明をお願いしたいと思います。

高塚農林課長。

○委員長（藤原正光） 高塚課長、ありがとうございました。

ただいまの農林課の説明に対する質疑をここでお願いしたいと思います。

山本委員。

○委員（山本裕三） ナンバー 4の湛水防除施設管理費の長寿命化ということで、非常にありがたいと思います。

これ、用排水機場の前に調整池、貯水池というかが大体あるので、あそこに結構、土がたまっていたりとか、いろいろ茂っていたりとかするんですが、これは長寿命化なのでちょっと予算が違うのかなと思っているんですけれども、そのの要はそこをきれいにするということも含まれるんでしょうか。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 来年度の予算案に計上をしていきます。

○委員（山本裕三） 別立てで。

○委員長（藤原正光） 佐藤係長。

○農地整備係長（佐藤正樹） 農地整備係の佐藤です。よろしく申し上げます。

先ほどの浚渫等の関係であります、それは施設修理費というところで予算計上してありましたが、今年ちょっとできなかったところがありましたので。

○委員（山本裕三） 何か、そうですね、流れた、流れた。

○農地整備係長（佐藤正樹） 令和 4年度の予算計上をしてありますので、年度が始まりましたら早めに発注したいと思っております。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） それは、場所でいうと領家ですかね。

○委員長（藤原正光） 佐藤係長。

○農地整備係長（佐藤正樹） 領家の排水機場です。

○委員（山本裕三） 承知しました。ありがとうございます。

○委員長（藤原正光） そのほかございませんか。

富田委員。

○委員（富田まゆみ） 説明資料の 171ページ、今説明はちょっと直接は触れられていないんですが、下段のやる気塾、それから担い手育成事業費のところもそれぞれ 100万円、それから 400万円ちょっと減らされているんですが、こちらのほうはコロナ等でいろいろな事業ができなかったというようなことが主な原因でしょうか。その辺をちょっと説明お願いします。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 171ページのやる気塾の推進費のところ、やる気塾の活動に対する補助金ですが、こちらは実績に伴う精算でして、やはりコロナウイルス感染症の影響により、事業が縮小した中で減額となっております。

それから、担い手育成の支援事業、担い手づくり総合支援事業費補助金ですが、こちらはコロナということは別で、担い手が規模拡大や効率化を図るために施設や機械の導入を図るときに市・県の補助金と合わせて支援をするものなんですが、当初予定ではトラクターですとか、そういったもの、機械を購入する予定でしたが、資金面から計画を変更いたしまして、レンタルに切り替えたということで、この事業に当てはまらなかったということで減額するものです。

○委員長（藤原正光） 富田委員。

○委員（富田まゆみ） 件数とすると、じゃ、件数が減ったというよりも購入からレンタルに変わったということだけで、例年の件数についてはどんなような推移がありますか、この実績で例えば、昨年に比べてとか。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 担い手づくりは 1件でして、もう 1件は見込みということで予算をしておりました。予定としては 1件でして、それがなくなったということになります。

○委員（富田まゆみ） 分かりました。

○委員長（藤原正光） そのほかございますか。

それでは、石川委員からお願いします。

○委員（石川紀子） ため池のところの質問でよろしいですか。 176ページのそれぞれのため池な

んですけども、負担金を補正することは分かりますが、どの部分を負担していらっしゃるのかというのが、今、ため池調査に入ると、大きい池については大分大がかりな工事をやられているので、農林課のほうと、それから中遠農林のほうとでやっているのは分かるんですけども、市としてはどういうところに補正をしていくのかというのがこの金額の中では見えませんが、大体どんなところに補正されているんですか。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 県施行の事業ですと、どこからどこが市の部分というわけではなくて、県で施行していますので、その中の負担率で市の負担金が決まります。

○委員長（藤原正光） 石川委員。

○委員（石川紀子） ため池を回っていますと、ここに群と書いてあるので、ため池群と書いてあるじゃないですか。地図上ではため池があるのは分かるんですけども、222か所のマップ上での名前と、その地図上と一緒にならないので、群と書かれたところが幾つぐらい集めたのを今事業されているのか見えません。ここを教えてください。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） ため池群ですけども、防災効果を確保、または十分に発揮するために一体的に整備する必要があるということで、事業実施後に同一の管理下にあって、要件が3つございますけれども、ため池間の農業用水の調整により洪水の調節機能ですとか、土砂流出の防止機能が向上するもの、それから2つ目として、ため池からの流出水量の調整によって洪水調節機能が向上するもの、それから3つ目として、決壊した場合の被害想定が重複するもので、いずれかに該当する2つ以上のため池をため池群というふうに定義をされております。

○委員（石川紀子） 分かりました。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

○委員（石川紀子） はい。

○委員長（藤原正光） では、山本委員、お願いします。

○委員（山本裕三） すみません、7番のイノシシ等有害鳥獣駆除の事業費、処理単価の改定というのは、特にあれですよ、制度上、単価が上がったということですよ。別に前回の処理場の故障とかが関係しているわけではなくて、制度上、その処理単価が上がったという、どう解釈すればいいんでしょうか。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 焼却の単価の改定が必要になりましたので、改定をさせていただいてお

ります。これまで施設が故障して、いろいろ御迷惑をかけたけれども、そういった施設の長寿命化を図ることも必要ですし、燃油の高騰もあったと思います。そんな中で単価の見直しの申出があり、それで必要ということで判断をさせていただいております。

○委員（山本裕三） はい、分かりました。

○委員長（藤原正光） 高柳産業経済部長。

○産業経済部長（高柳和正） 今回、単価の改正ですけれども、国交省も同じように磐田の業者の方に処理をお願いしています。その単価と掛川市の単価が違ったものですから、掛川市のほうが安かったものだからね、ちょっと合わせてほしいという業者のほうからの依頼もありまして、改正をしたという経緯になります。

○委員（山本裕三） はい、ありがとうございます。理解しました。ありがとうございます。

○委員長（藤原正光） そのほか。

では、大井委員、お願いします。

○委員（大井正） 176ページ、3目のため池の件ですけれども、これの12節委託料ですが、右側の説明によりますと農業用溜池調査委託料になっていまして、これ、調査というと私らが考えると測量とか、ボーリングとか、土質とかの調査であって、池の改修とか補強工事ではないように受け取るんですが、そうでいいですか。

○農林課長（高塚茂樹） 市施行は、調査になりますので、工事ではありません。

○委員長（藤原正光） 大井委員。

○委員（大井正） そうしますと、総額で1億4,500万円は結構なあれなんですけど、その調査費というのは間違いはないとか、これだけかかるものなんですね。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 3年度に予定していたのは、9池でして、8,700万円、それから国の補正で、8池を追加し、合計で17池の金額となります。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

○委員長（藤原正光） 大井委員。

○委員（大井正） 今の件、確認ですが、1池平均に無理やりすると乱暴にすると1,000万円くらいかかるよということですが、これは1か所ずつあれですか、入札して、応札結果の妥当性を判断しているということで理解していいですか。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 入札は、一つ一つではなくて、今年度の最初に2つで、あと残りを5つ

とかというふうに分けていますので、必ず 1個 1個ずつというわけにはなっておりません。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

○委員（大井正） はい。

○委員長（藤原正光） そのほかございますか。

それでは、富田委員、お願いします。

○委員（富田まゆみ） 説明資料の 7番、イノシシのところちょっと御質問させてください。

もともと、市のほうが依頼していた金額がとても安かったから、国等に合わせたよということでしたけれども、施設の老朽化等がかなり問題になっておりましたが、今はまだ継続してできるのか、今どういう状況、向こうの処理場はどういうふうな今状況になっているのでしょうか。

○委員長（藤原正光） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 修繕をしていただきまして、今、これまでどおり動いている状況ですが、これまでも何頭かをまとめてやって、かなり燃料を使い高温になり、負荷がかかっていたと思います。それを 1頭ずつというか、窯のほうに負荷をかけずにやっていただきますので、少し処理時間がかかるかもしれませんが、これまでどおり焼却をやっていただいている状況です。

○委員（富田まゆみ） はい、分かりました。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

○委員（富田まゆみ） はい。

○委員長（藤原正光） そのほかございますか。

副委員長いいですか。

○副委員長（松浦昌巳） 委員長。

○委員長（藤原正光） すみません、1点お願いします。

補正予算の説明資料の一番最初の 1番の農地中間管理事業費のところ、各地の申請実績によりということなのですが、先ほど説明で地域内の話合いの状況というように聞こえたんですけども、計画どおりいっていないというような状況に解釈して、その辺もう少し説明をお願いできればと思います。

○副委員長（松浦昌巳） 高塚課長。

○農林課長（高塚茂樹） 主には、基盤整備事業に絡めて行うことが多いものですから、そういった中で地域の話合いで事業の進み具合によって、利用権設定、集積を担い手の方を含めた話合いでやっていきます。また、ある程度まとまった面積でないと対象にならないこともありますし、地域内のどれだけ集積ができたかというパーセントによっても単価が変わってきますので、より集めた

ほうが単価は上がってくるということで、話し合いがまとまるまで少し時間がかかるかなと思っています。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。
よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、農林課の説明を終了したいと思います。
農林課、ありがとうございました。

よろしいですか。それでは、続いて、産業労働政策課の説明をお願いいたします。
溝口産業労働政策課長。

○委員長（藤原正光） 溝口課長、ありがとうございました。
それでは、産業労働政策課に対する質問をここでお願いしたいと思います。
山本委員。

○委員（山本裕三） 183ページの中小企業者等応援給付金、説明の7ですね、給付件数に関してはある程度想定の目標にいったのか伺います。

○委員長（藤原正光） 溝口課長。

○産業労働政策課長（溝口尚美） 目標のペースで行っております。

○委員長（藤原正光） そのほかございますでしょうか。
それでは、富田委員、お願いします。

○委員（富田まゆみ） 185ページの消費生活センター運営事業費の減のところ、ウェブ開催に変えたことで旅費が減ったということでしたが、回数とか、それから受講の人数等についてはウェブでやっても同じように参加者は募ることができたのでしょうか。

○委員長（藤原正光） 溝口課長。

○産業労働政策課長（溝口尚美） これは、今年度、消費生活相談員が新任になりまして、県の研修にその者が出席するための旅費で、ウェブ開催で市役所で受講しておりますので、全ての講座に受講しております。

○委員（富田まゆみ） はい、分かりました。

○委員長（藤原正光） そのほかございますでしょうか。
大井委員。

○委員（大井正） 183ページです。先ほど、説明の6、地域協働経済支援の介護保険の、これ、先ほどのおっしゃい方ですと、券そのものは皆様のところに配られているけれども、使っていない

からお金で精算しないよというふう聞こえたんですけども、それでいいですか。

○委員長（藤原正光） 溝口課長。

○産業労働政策課長（溝口尚美） そうです。この事業は、住宅リフォームや太陽光発電施設等を設置した方に買物券を発行して、使っていただくという事業になります。買物券の有効期間が6か月間あるものですから、年度内に使い切れない方がいらっしゃいます。その分を次年度に予算措置させていただくということで、来年度使用されたときにお知らせをさせていただきます。

○委員長（藤原正光） 大井委員。

○委員（大井正） それじゃ、券そのものは、例えば、私がリフォームしたら、その該当分だけ私のところであって、私がまだ使ってないと、これの有効期限が延びるんですか。

○委員長（藤原正光） 溝口課長。

○産業労働政策課長（溝口尚美） 完了確定処理をしてから6か月間になりますので、年度の後半に完了された方は、今年度に使うこともできるし、来年度に使うこともできます。市からのお支払いは各小売店で買物券と商品を交換して使われます。その後に請求が来ますので、その分を払わせていただくので、利用期間は6か月間です。

○委員長（藤原正光） そのほか御質問等ございますでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

説明資料の8番の企業誘致対策費のところ、県外への企業訪問を控えたということで、補助金が減額になっているんですが、この金額以上にかなりこの影響が出てきちゃうのかなと思うんですが、その対策等は何かお考えはありますか。

溝口課長。

○産業労働政策課長（溝口尚美） 企業誘致活動は、実際に訪問をしないと、なかなか効果が出ません。コロナ禍の移動制限のため、リモートのほうも行っていますが、訪問を補うほどの効果は難しいかなと思っています。移動制限が緩和されたら、訪問を積極的にしていきたいと思っています。

○委員長（藤原正光） そのほかございますでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） よろしいですね。それでは、質疑のほうを終結します。

産業労働政策課、ありがとうございました。

ここで、1時間ほどたちましたので、トイレ休憩を一旦取ります。

午前10時40分 休憩

午前10時44分 開議

○委員長（藤原正光） それでは、再開をさせていただきます。

続いて、生涯学習協働推進課の説明をお願いしたいと思います。

赤堀生涯学習協働推進課長。

○委員長（藤原正光） 赤堀課長、ありがとうございます。

ただいまの生涯学習協働推進課の説明に対する質疑がありましたらお願いしたいと思います。

山本委員。

○委員（山本裕三） 先ほどもおっしゃったかもしれないですけども、て天竜浜名湖鉄道の資金ショート、単年で出たということですか。

○委員長（藤原正光） 赤堀課長。

○生涯学習協働推進課長（赤堀純久） 今年度の経営状況によって、今年の6月に資金ショートする見込みになります。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） そうすると、しばらくこの程度、この状況が続くなど、どのような見通しでしょうか。

○委員長（藤原正光） 赤堀課長。

○生涯学習協働推進課長（赤堀純久） 沿線市町の幹事会での中の議論をお伝えします。

5か年計画によって天竜浜名湖鉄道を支援しており、令和元年から5年までの経営計画を見通した中で、掛川市としては、毎年3,000万円程度を負担金として支出しています。状況としましては、これで経営が立ち行かないということ、コロナの状況によって、去年は先送りできた修繕費など今年先送りできる修繕費等はないということ、などからこの先も見通しは立っていません。5か年計画全体に対して、追加支援を行うということに対しては、議論としては、計算ができないということになります。従って、単年度ごとの欠損状況を見ながら、追加支援を考えていくといった結論となっております。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） 天竜浜名湖鉄道としては、年度ごとの状況で、このショート分に関して計算をして、各関連の自治体へ、毎年このような形で追加支援が出てくるという認識でしばらく続くのでしょうか。

○委員長（藤原正光） 赤堀課長。

○生涯学習協働推進課長（赤堀純久） 来年も追加支援が出てくるのだろうと想定はしています。

○委員長（藤原正光） そのほかございますでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

それでは、生涯学習協働推進課の質疑を終結します。赤堀課長、ありがとうございました。

それでは、続いて、文化・スポーツ振興課の説明をお願いします。

中山文化・スポーツ振興課長。

○委員長（藤原正光） 中山課長、ありがとうございました。

ただいまの文化・スポーツ振興課の説明に対する質疑がありましたら、お願いしたいと思います。
いかがでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） ございませんか。

すみません。私から 1点お願いします。

14番の普及啓発事業の部分の運動・スポーツの補助事業が不採択ということでありましたけれども、次年度の見通しなど何かあれば教えていただきたいですが。

中山文化・スポーツ振興課長。

○文化・スポーツ振興課長（中山善文） 次年度の申請は予定しておりません。

○委員長（藤原正光） ありがとうございました。

よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、質疑を終結します。

文化・スポーツ振興課、ありがとうございました。

それでは、続いて、環境政策課の説明をお願いします。

松永環境政策課長。

○委員長（藤原正光） 松永課長、ありがとうございます。

ただいまの環境政策課の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思います。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

それでは、質疑を終結します。

環境政策課、ありがとうございました。

それでは、続いて、都市政策課の説明をお願いします。

森長都市政策課長。

○委員長（藤原正光） 森長課長、ありがとうございました。

ただいまの都市政策課の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思います。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、質疑を終結します。

都市政策課、ありがとうございました。

それでは、続いて、土木防災課の説明をお願いします。

松永土木防災課長。

○委員長（藤原正光） 松永課長、ありがとうございました。

ただいまの土木防災課の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思います。

安田委員。

○委員（安田彰） すみません。取りやめた理由を教えてください。

○委員長（藤原正光） 平松都市建設部長。

○都市建設部長（平松克純） この事業は、一応土木防災課に予算づけされていますが、土地開発公社で、皆さん御存じように行っている上西郷の工業用地の造成事業の中の道路ということで、県から 3分の 1の補助をいただいて、市負担分を土地開発公社が 3分の 2出すということで、一応補助金をもらうために市のほうへ土地開発公社が負担金を出してやるという事業で、当初、今年度 8月頃基本協定を締結するというので、去年の予算要求の時点では進めておりましたが、工業用地以外で広く募集するというので、方針が変わったことによりプロポーザルの期間が長くなったりということで、まだ事業が進んでいないという状況になりましたので、今年度は皆減させていただくということです。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

○委員（安田彰） 分かりました。

○委員長（藤原正光） ほかにございますでしょうか。

富田委員、お願いします。

○委員（富田まゆみ） 今のところで確認ですが、話が進んでくれば同じような形でまた計画されるということでよろしいのでしょうか。

○委員長（藤原正光） 平松都市建設部長。

○都市建設部長（平松克純） 今の方式ですと、先方から、事業予定者から提案いただいている内

容ですと、もうこの事業を使わずに全部そこを一括してやってしまうという提案いただいていますので、まだ使うか使わないかはちょっと不透明なところも、使う可能性もありますが、今のところは使わないのかなというぐらいの状況です。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

そのほか。

大井委員、お願いします。

○委員（大井正） この項目の予算とは直接関わらないかもしれませんが、私の認識ですと、こういう大きな開発行為をやるということになると、土地利用計画を出して、いいだろうとなると開発行為に移っていく、そのときに認可したり何なりするのは県土木になるんじゃないかと思うんですが、そういった流れでいきますか。

○委員長（藤原正光） 平松都市建設部長。

○都市建設部長（平松克純） 上西郷につきましては、土地開発公社ですので、開発協議ということになります。ですので、市と協議をして進めるということになっています。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

そのほかございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、質疑を終結します。

土木防災課、ありがとうございました。

それでは、続いて、基盤整備課の説明をお願いします。

牧野基盤整備課長。

○委員長（藤原正光） 牧野課長、ありがとうございました。

ただいまの基盤整備課の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思います。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

すみません。1点お願いします。

説明資料の18番、太田川原野谷川の治水水防組合負担金ですけれども、市内開催の予定だったということは、今回当番市ということかと思うんですけれども、その開催地による減額というのはどこの市も同じということでしょうか。

牧野課長。

○基盤整備課長（牧野明） そのとおりです。

○委員長（藤原正光） そのほかよろしいですか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、質疑を終結します。

基盤整備課、ありがとうございます。

それでは、続いて、維持管理課の説明をお願いします。

竹嶋維持管理課長。

○委員長（藤原正光） 竹嶋課長、ありがとうございました。

ただいまの維持管理課の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

大井委員、お願いします。

○委員（大井正） お願いします。

21番のほうです。事項別明細書ですと 186ページ、橋梁の減額ですけれども、これはやった事業そのものを精算したら安くできましたという意味ですか、それともそれだけお金を交付することはできないよという上からの予算の制限があった、どちらですか。

○委員長（藤原正光） 竹嶋課長。

○維持管理課長（竹嶋快充） これにつきましては、国庫の交付金を充当してやって実施している事業でございます、説明資料でいきますと、財源のところの国庫支出金の欄が 2,182万 4,000円減額になってございます。

これにつきましては、国の交付金の年度当初の内示、それから追加の内示等々の最終交付金の内示がこの金額に収まったということで、国からの交付金が下がったために予定の実施予算のと、そういう結果でございます。

○委員長（藤原正光） 大井委員。

○委員（大井正） そうしますと、掛川市としては、この橋も調査したい、この橋も直したいという物件は抱えているのに、お金がつかないからできなかったよと、俗な言い方をすればそういうことですか。

○委員長（藤原正光） 竹嶋課長。

○維持管理課長（竹嶋快充） 委員おっしゃるとおり、そういう内容になります。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

そのほかございますでしょうか。

それでは、富田委員、お願いします。

○委員（富田まゆみ） 今の同じところなんですけど、予定していた調査、どのくらい、幾つぐらいこれでできなくなっただけでしょうか。

○委員長（藤原正光） 竹嶋課長。

○維持管理課長（竹嶋快充） 橋梁の修繕につきましては、単年で終わるということばかりでもなくて、工種は橋台、それから桁、それから防水とか、コンクリートの劣化とか、相当多数になっておりますので、各年ごと何個減ったという調整ではなくて、今年予定していたものを来年に繰り延べしたとか、今年度手をつけるのをやめたとか、そういう項目になりますので、数的にとというのは、ちょっと説明が難しい状況でございます。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

そのほかございますでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、質疑を終結します。

維持管理課、ありがとうございました。

それでは、続いて、下水道課の説明をお願いします。

小野田下水道課長。

○委員長（藤原正光） 小野田課長、ありがとうございます。

それでは、ただいまの下水道課の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思います。

いかがでしょうか。

〔「なし」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、質疑を終結します。

それでは、質疑が終わりましたので、ここで委員間討議をお願いしたいと思います。

今のこれまでの説明等について御意見のある方はお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

では、石川委員からお願いします。

○委員（石川紀子） 説明を受けた中で、委託料というのがどの部門も入っておりますが、その委託料に関しての予算補正について減額の場合はその分をほかに回せたりするのでありがたいと思いますけれども、それが今回の4年度にもつながるということで、その委託料についてももう少し詳しく知りたいというふうに私は思います。

○委員長（藤原正光） では、山本委員。

○委員（山本裕三） 例えばどういう、委託料のどこに委託しているかというのは明確になりますけれども、どういうことで。

○委員長（藤原正光） 石川委員。

○委員（石川紀子） お城の場合は、どこに委託していたかというのが、それぞれの面に番号をつける、そして、それをちゃんと修復するという詳しい話が出たので、それだけの費用がかかるというのは目に見え、それこそ目に見える化ですよ。

ただ、言葉の中の委託料というのが、ため池もそうですけれども、どんなことを調査するつもりで委託するのかという業者云々ではなく、内容をやはり検討することも、専門部ではないと言われたらそれですけれども、きちっと知らせていただけることが分かりやすくなるというふうに思いました。

○委員長（藤原正光） 今の御意見についてでもよろしいんですが、そのほか別の件でもよろしいんですけれども、ほかの委員の皆様いかがでしょうか。

山本委員、お願いします。

○委員（山本裕三） 天竜浜名湖鉄道の件ですけれども、なかなか大きな話だとは思いますが、やはり今、天浜線もラッピングとかまだまだ経営努力をされている中で、非常に頑張っているなというふうな思いがございまして、ぜひ、ここで予算をつけてくださいということではないですけれども、少し見守っていかねばいけないなど、非常に地域の大切な足でもございまして、天浜線も今様々な努力をしているようなことを私は聞きました。バスも含めてですけれども。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

今の山本委員の天浜線の御意見についてでもよろしいですが、そのほかでもよろしいので、ほかいかがでしょうか。

松浦副委員長。

○副委員長（松浦昌巳） 順番に石川委員の委託料の件なんですけれども、委託料は、やはりちょっと分かりにくいところがあるんですけれども、やはりそれぞれの業者さんの中で特色が出てきているとかということもあるものですから、最低レベルの業種やつも企業によって違うと思いますので、それは明確にさせていただきながらこちらにもお知らせしていただいたり、説明いただいて決めていく、決定していただくというような、私達としてはちゃんと理解をするべきかなと思っていますので、説明を求めてもいいと思います。

それから、天浜線は実は東北の電車、三陸鉄道なんかともつながりがありまして、その交流も今もやっているものですから、ぜひそういったPRもしていきたいなと私自身も思っております。

それから、私の個人の意見ですけれども、今回電気料の増額というのは、ちょっとこれは本来あってはならないというか、突発的だとはいえ、これだけ予算の減額が続く中で電気代が増額してい

るというのは、やはり行政としてはよろしくないと思います。ただ、今回報徳パワーの意味というか、地域電力として全国でも珍しいと思うんですけれども、行政が新電力を会社として立ち上げているというのは、やはりそこは、私達としてもやっぱり支援はしていきたいなと個人的には思っていて、この事業が軌道に乗ることが、これから環境政策であったり、今テーマになっている脱炭素だったり、そういうところが掛川がリーダーになっていくところかなと思っています。

今回、本当に突発的だったとはいえ、反省する点はたくさんあるんですけれども、見直してもらうところとか協議するところはあるにしても、引き続き新電力についてはしっかりやってもらいたいなというふうに思っています。

○委員長（藤原正光） では、先に挙げた山本委員。

○委員（山本裕三） 先ほども浜松の例を出しましたがけれども、浜松の例を見ると、まだ実情は分からないんですけれども、やっぱり自主電源をしっかり確保されているよというところが大きいのかな。かなり大きな太陽光発電の自主電源を持っていらっしゃるということで。それで、今回このような少し補正で組まなきゃならない状況になったと。それ全体で新電力事業というのが悪いというわけでは決してないんです。ただ、やはり事業というのはかなりリスクも伴うものですから、一度決めたからもうこれでいくというわけではなくて、柔軟に、先ほどそういう状況であれば、また新たな電力会社さんからの購入も含めて、柔軟に対応していただきたい。どの事業でも、始めればいろいろあるので、ただそこでしっかりと軌道修正をしていくということが大事かなというふうに思いました。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

それでは富田委員。

○委員（富田まゆみ） 報徳パワーということで、環境に優しい電力それから課題解決ということでせっかく立ち上げたんですが、今回の電気料が上がってしまったということで、自主電源を持っていかなかったというところもかなり大きな原因の一つではないかなというふうに思います。ただ、これで市民の皆さんの反応というのが、受け止め方があんまりにマイナスになってしまって、これからの環境行政に対して負のイメージをあまり持たないような形で、私たちも何かしなければいけないんじゃないかなというのを強く感じております。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

それでは石川委員、お願いします。

○委員（石川紀子） お願いします。

この冊子の14番に載っていましたが文化・スポーツの振興課で、さっき委員長も話していましたが、

普及の啓発事業にはこれから載りますかということで、4年度を見ましたら、やっぱり載っていません。これからスポーツを推進していくというところ、オリンピックでたくさんの方を応援してきましたので、それがどういう形で、今度掛川市が広げていくのかというのを思うと、令和4年を見ますと、それよりも文化的なことの内容が多いように思いました。施設もそうですけれども。やっぱりこれから検討をしていくときに、皆さんの健康も含めて考えていく意味では、なくしてしまう理由もしっかり知って、ほかに活かされているところを見届けていかなければならないというふうに思いました。

以上です。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

安田委員。

○委員（安田彰） 関連じゃないんですけども、健康ふれあい館のことで、ちょっと思ったことがあります。今マスコミの報道なんかでは、キャンプブームとかそういう感じで、いろんなあちこちに、近隣の島田市なんかでも特色のある施設なんかができているんですけども、コロナ禍で健康ふれあい館も非常に、今まだそんなに安定経営とか、そこら辺が難しいところかもしれないんですけども、ちょっと僕が気になったのは土地の借上料、さっきもちょっと説明がありましたけれども、今土地の借地料のようなものは、全般的に多分すごく下がっている状況だと思うんです。そういう状況の中で、どのくらいの借地料が、年間でやっぱり1,097万5,000円だよ。だから、そのくらいのお金が支払われているということで、今後の経営もすごく気になるんですけども、適正価格というあたりもあるので、ちょっとまた、取りあえず、すいません、自分全然知識を持っていないものであれですけども、そこら辺のところはちょっと気にかかりました。

以上です。

○委員長（藤原正光） 富田委員、お願いします。

○委員（富田まゆみ） 私も全く同感です。健康ふれあい館の譲渡のときに、やはりこの借地料についてはかなり議会のほうからもそういった話を当局側にして、当局としても、早めに借地料の適正化みたいのところも地元と協議していくということだったんですが、今日は質問したときに全くそれがされていないということで、もう今度の4月でもう丸1年になりますので、延びれば延びるほど1,000万以上の金額は変わらないんですよ。そこをやっぱり、市全体としての税金がそこに払われているということもありますので、その辺はもうちょっと、議会としてもしっかり見ていかなければいけないんじゃないかなというふうに感じました。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） 基本的には、土地の契約で30年というところの縛りがあったということですが、とはいえ、そういう契約も基本的にはそのときの社会情勢とか、そういうところにおいては単年度である程度契約の方針というか、変更というのは不可能ではないということで理解をしていますので、私もそろそろ市としてもしっかりとそのあたりを主張していただきたいというふうに思いますし、結局のところ、地域活性化のために頑張っているのであれば、ある程度地元の皆様にも御理解をいただきたいなという気持ちは、私も常々思っておりますので、お二人の意見に賛同いたします。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

文化・スポーツの石川委員のところで、オリンピック 1,100万円ほどの減額ということであったんですけども、やっぱりその後の普及啓発をどうしていくんだというのを、やっぱり僕も少し課題かなというふうに思いました。天浜線にしても、企業努力はされているんですけども、全国でもかなりローカル線の廃止というのが課題になっているというようなことで、どんな利用促進の事業ができるかなというふうに思っております。

それでは皆さん、委託料から始まりまして天浜線とか電気料の関係、それから文化・スポーツの関係、健康ふれあい館のこと、土地の契約のこともそれぞれの委員間討議をしていただきました。

以上で委員間討議のほうを閉めさせていただきます。

それでは討論はございませんでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは以上で討論を終わります。

それでは採決に入りたいと思います。

議案第44号 令和3年度掛川市一般会計補正予算（第14号）第1条歳入歳出予算の補正のうち、歳入は当委員会所管部分及び歳出中第2款総務費、第1項のうち所管部分、第4款衛生費、第1項を除く第5款労働費、第6款農林水産業費、第7款商工費、第8款土木費、第10款教育費、第5項のうち所管部分、第6項1目、2目、3目について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

当委員会に分割付託されました議案第44号については、全会一致にて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

前回の休憩から 1時間以上たちますので、ここでまたトイレ休憩を 1回入れたいと思います。お願いします。

午前 11 時 35 分 休憩

午前 11 時 39 分 開議

○委員長（藤原正光） 当局の皆さん、すいません。お待たせいたしました。

それでは、次に議案第53号 令和 3年度掛川市公共下水道事業会計補正予算（第 3号）についてを議題とします。

それでは審査に入ります。下水道課長、説明をお願いします。

小野田下水道課長。

○委員長（藤原正光） 小野田課長、ありがとうございました。

ただいまの下水道課の説明に対する質疑がございましたら、お願いしたいと思います。

富田委員、お願いします。

○委員（富田まゆみ） 事項別明細のほうの 183ページ、委託料の 1,388万 4,000円の減額のところ、ちょっと詳しく教えていただけますでしょうか。

○委員長（藤原正光） 加藤主幹。

○下水道課主幹（加藤正尚） 下水道課主幹の加藤です。

委託料の減額ですが、来年度以降に管渠工事を予定している地区の実設計委託料の減額、これは入札差金による減額になったものと、もう一つは建物補償調査の委託料です。建物補償調査は、工事施工前に建物等を事前調査するもので、建物や塀などの工作物を調査し工事による影響が建物等にあったか否かを判断するための調査委託料で、当初見込んでいた建物調査の件数が減ったことによる減額等になります。

また、工事施工後は事後調査も実施しますので、工事周辺地域の方からの申し出により調査を行い、事前調査の資料と対比し、工事施工後の建物等の状況を把握しますが、当初見込んでいた件数よりも少なかったことによる精算になります。

以上です。

○委員（富田まゆみ） ありがとうございました。

○委員長（藤原正光） そのほかございますでしょうか。よろしいですか。

それでは以上で質疑を終結します。

質疑が終わりましたので、ここで委員間討議をお願いしたいと思います。意見のある方はいら

っしやいますでしょうか。

〔「いいです」との声あり〕

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

それでは委員間討議を終了します。

それでは討論はございますでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、以上で討論を終わります。

それでは採決に入ります。

議案第53号 令和 3年度掛川市公共下水道事業会計補正予算（第 3号）について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

議案第53号については全会一致にて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

それでは次に、議案第54号 令和 3年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算（第 3号）についてを議題とします。

それでは審査に入ります。下水道課の説明をお願いします。

小野田下水道課長。

○委員長（藤原正光） 小野田課長、ありがとうございます。

ただいまの下水道課の説明に対する質疑がございましたらお願いしたいと思います。質疑はございますでしょうか。

質疑がないということで、質疑を終結したいと思います。

質疑が終わりましたので、ここで委員間討議をお願いしたいと思いますが、御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。

それでは委員間討議を終了したいと思います。

それでは討論はございますでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、討論を終わります。

それでは採決に入りたいと思います。

議案第54号 令和 3年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算（第 3号）について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

議案第54号については、全会一致にて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

下水道課もう一つ残っているんですが、ちょうどお昼になりましたものですから、次の再開は午後1時からということにさせていただきたいと思います。それでは、ここで休憩したいと思います。

午前11時59分 休憩

午後 0時59分 開議

○委員長（藤原正光） 少し時間早いですけれども、皆さんおそろいになったというところで、時間前ですけれども、始めさせていただきます。再開をさせていただきたいと思います。

それでは、次に議案第55号 令和3年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算（第2号）についてを議題とします。

それでは審査に入りたいと思います。下水道課の説明をお願いします。

小野田下水道課長。

○委員長（藤原正光） 小野田課長、ありがとうございます。

ただいま下水道課の説明が終わりました。

説明に対する質疑がありましたら、ここでお願いしたいと思います。

[「ありません」との声あり]

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

それでは、質疑のほうを終結したいと思います。

質疑が終わりましたので、ここで委員間討議をお願いしたいと思います。御意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

山本委員。

○委員（山本裕三） 先ほどの農業集落排水も含めて、下水道も含めて、合併浄化槽も含めて、新しい新人議員はその地域でどういうふうに、ここまではこうなっていて、あんななっていてとか、そういう地域での計画も含めて、少しまだまだ分からない点もあるというふうに先ほど聞きましたので、少し、今後の方向性も含めて、改めて下水に関わるものに関しては、少し勉強したほうがいいかなというふうに思っております。

○委員長（藤原正光） 計画と方向性を含めて、協議会のほうでまた勉強するというような形で進めていきます。

○委員（山本裕三） 振り割りというか、区切りというか、ここはそうなっていて、あそこはとい

うようなのも、一度地図で見られると非常にいいかなと思っています。

○委員長（藤原正光） またそういう資料も頂きながら見ていくというようなことで。

ほかの委員はいかがですか、今の御意見でもいいですし。

それでは大井委員、お願いします。

○委員（大井正） 午前中にあった53、54号にも入っていたんですけども、この55号では単独なものであえて聞きますけれども、人勸によって給与が下がってきているということは、これは僕は、どちらかという、午前中の2つは賛成はしたものの、忸怩たる思いがあるんです。ここ単独にこの項目だけということになると、賛成しかねちゃうというのがあって。これ、どうなんですかね。この御時世で給与が下がっていくというもの。

○委員長（藤原正光） いいですか。

ここは委員間討議なものですから、今の委員の人勸の関係で、忸怩たる思いがするよという御意見がございましたが、これに対してでもいいですし、何か御意見がございますでしょうか、ほかの委員。

病院の企業なども、この形が全てでしたね。それはやっぱり人勸とはいえ、ちょっとまさかというふうなお話は出ておりましたけれども。

山本委員。

○委員（山本裕三） 仕事の忙しさと、忙しくなっているのに給料が下がってしまうとか、いろいろ矛盾をはらんでいるところはあります。ただ、人勸に伴ってその給与とするということで、なかなか私としても、いい、悪いということはなかなか言えないんですけども、そういう矛盾をはらんでいるなというところは、私も感じたりはします。特に病院とか。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

そのほかの委員の皆さん、よろしいですか。

では、石川委員、お願いします。

○委員（石川紀子） すいません。今の浄化槽についてですが、令和4年度にすると3ページほどのページになっておりますけれども、今回のこのページ、推進事業に関してのところ、今どのぐらい推進されていて、まだこれからやっていかなければいけないところどのぐらい残っているかということをお聞きしたい。実は、自分たちの住んでいるところが農業集落に近いところなので、まだそういうのが残って問題としてあるのかということをお聞きしたいと思っておりますけれども、それはさっきのところでしたね。

○委員長（藤原正光） そうですね。

○委員（石川紀子） そうでした。ということが疑問に残り、事業として推進していくということであれば、やはりこれからまだやっていないところに啓発していくことが必要になってくると思うので、それがこの中にこれから入ってくるのかどうかというところは思っております。

以上です。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） そういうことも踏まえて、また今後の計画と現状も含めて勉強会をやれたら。今の内容も含めていいですね。

○委員長（藤原正光） そうですね。

○委員（山本裕三） やれたらと思います。

○委員（石川紀子） ありがとうございます。

○委員長（藤原正光） 今の内容も一緒にやる。

それでは大井委員、お願いします。

○委員（大井正） 今のに若干絡むんですが、浄化槽を設置した以上、日常点検と点検業者とは別の機関、県で指定する 1つだけの機関による年次点検というのが義務づけが実はあるんですね。ところが、これ完全に実施しているお宅ばかりじゃないんですよ。

〔「11条ですね」との声あり〕

○委員（大井正） ええ。それで、ここらのことについて、いわゆる啓発というのが、検査するべきなのが県だもので、県の事業としてやるのか、市民に対して市がやるのかは、よく分からないんですけども、そういう啓発というのは、これは結局は、環境のものできちんと整備された下水でということなもので、どうなのかな。

これ、調べてみたら、年次点検は全国一律の料金なんですね。ということは、検査を実施する人たちに対して何らかの補助なんかが入っているのなら、もうちょっと増額にして全部官費でやってくれば、全部浄化槽の検査がされるのになというのもあったりして、さっき勉強会の話が出たもので、そこら辺の仕組みなんかも勉強していきたいなと思います。

○委員長（藤原正光） 11条の関係。通知は来ますよね。その辺についても一緒に、計画等と一緒に、また協議会のほうで進めていきたいと思います。

そのほかございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（藤原正光） ないということで、委員間討議のほうを終わらせていただきます。

それでは討論はございますでしょうか。

大井委員。

○委員（大井正） 午前中と矛盾する部分が出ちゃうんですが、これ、人件費に絞ったテーマですので、議案なものですから、私としては仕事量も変わっていないし、むしろコロナ等で勤務状況も厳しくなっている中で、幾ら人事院勧告とはいえ、給料を減らしていくという方向性に対しては、ちょっと賛成できないですね。

○委員長（藤原正光） 松浦副委員長。

○副委員長（松浦昌巳） 人事院勧告、いろんな厳しい結果になる場合もあるんですけども、どこかで線を引くというか、そういったところも必要になってきますので、これだけではなくて、ほかの職員もそうだし、それから病院もそうだったんですけども、どこかの、ここはいいけれども、ここは駄目ですという、そこが、境が分からないというところが、ちょっと心が痛むところなのかもしれないですけども、やはり、水準というか線をどこかで引くとなると、何とか理解をしていただきたいなということで、私はこれには賛成の立場で御意見とさせていただきます。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

以上で討論のほうを終わります。

それでは採決に入りたいと思います。

議案第55号 令和3年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算（第2号）について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

議案第55号については、賛成多数にて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第52号 令和3年度掛川市水道事業会計補正予算（第2号）についてを議題とします。

それでは審査に入ります。水道課の説明をお願いします。

山下水道課長。

○委員長（藤原正光） 山下課長、ありがとうございます。

ただいまの水道課の説明に対する質疑をお願いしたいと思います。

山本委員。

○委員（山本裕三） 説明をお聞きしてあれなんですけれども、1点ちょっと、電気代の影響は特に受けなかったのか教えてください。

○委員長（藤原正光） 山下課長。

○水道課長（山下剛） 水道の会計のほうは電気代、動力費と光熱費があるんですが、主に動力費

のところ、高圧電力を予算計上しています。水道の場合は、過去に電気料金最大のところを見て予算計上していますので、今回、昨年の決算に比べては増額になりますが、補正まではいかないという電気料の増額になりました。

○委員（山本裕三）　そういうことですか。ありがとうございます。

○委員長（藤原正光）　そのほかいかがですか。

山本委員。

○委員（山本裕三）　多めに計上しておいてあるというのは、やっぱり安全保障上ということですか。

○委員長（藤原正光）　山下課長。

○水道課長（山下剛）　水道事業ですので、電気料でもし止まったら困ったりしますので、それで急に何か事があって大幅に電気を使うこともありますので、一応何かあると困りますので、最大ということで、安全を見て予算計上しているという予算になっております。

○委員長（藤原正光）　その他質疑はございますか。よろしいですか。

それでは富田委員。

○委員（富田まゆみ）　今回の工事請負のほうで減額ございますが、いわゆる改修工事の遅れている現場のほうの問題は大丈夫なんでしょうか。遅れることによる影響というのか、その辺はどうでしょうか。

○委員長（藤原正光）　山下課長。

○水道課長（山下剛）　それこそ、債務負担でやらせていただきまして、今回早めに今年度中は無理だということになりましたので、来年度にちょっと延長しましたが、来年度中の完成見込みということで予定はしておりますので、お願いします。

○委員長（藤原正光）　よろしいですか。

○委員（富田まゆみ）　はい。

○委員長（藤原正光）　そのほかございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（藤原正光）　それでは質疑を終結します。

質疑が終わりましたので、ここで委員間討議をお願いしたいと思います。何か御意見がある方。

山本委員。

○委員（山本裕三）　先ほどの水道事業って生活インフラで欠かせないものなので、少し電気代というところも幅を持っていて、これすごくよい考えだなと思います。今、海外情勢もかなり不安定

になってくる中で、このエネルギーに関してはかなり振れ幅が大きくなっていくということなので、来年度予算はもうつくってあるのであれですけども、こういうところ、少し市民の生活に必要なインフラにおいては、少しこういう余裕を持たせておくというような予算計上ってすごく大事ななというふうに、個人的には思いました。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

今の山本委員の意見に対する意見でも結構ですし、また別件でも結構ですけども、何かほかの委員の皆様ございますか。

石川委員。

○委員（石川紀子） では、山本委員に合わせまして。実は、この4年度のやっぱり電気代が多いということで計上されているので、今の水道の一番命の源になるものが先に先見があってやってあるということは安心できる部分になるので、やはりとても大事な予算立てであったり執行であるなということは感じております。

今回、浄水の飲む水なので、もっと大切に水を使っていかないと、これから自然の状況も、自然災害もあるので、この水のことに关しては、広報であるとかスマホの中でホームページであるとかで、やっぱり時期を見て、水の大切さを市民に伝えていく、それで大切に使うという、環境にも触れていくことで、環境委員会にはとても大切な項目だなというふうに思いました。

意見ですが、以上です。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

そのほか、今の石川委員の御意見に対してでも結構ですけども、ほかでもいいです。ございますか。よろしいですか。

幅を持たせるというような考え方がいいのではないかとというような2人の御意見をいただきました。ありがとうございます。

それでは、委員間討議のほうを終了したいと思います。

それでは討論はございますでしょうか。

討論がもしあれば。大丈夫ですか。

〔「いや大丈夫です」との声あり〕

○委員長（藤原正光） 大丈夫ですか。

それでは討論のほうを終わりたいと思います。

それでは採決に入ります。

議案第52号 令和3年度掛川市水道事業会計補正予算（第2号）について、原案のとおり可決す

ることに賛成の方の挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

議案第52号については、賛成多数にて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

上下水道部、ありがとうございます。

それでは次に、議案第49号 令和3年度掛川市駅周辺施設管理特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

それでは審査に入ります。産業労働政策課の説明をお願いします。

溝口産業労働政策課長。

○委員長（藤原正光） 溝口課長、ありがとうございます。

ただいま産業労働政策課の説明に対する質疑がありましたらお願いしたいと思います。

山本委員。

○委員（山本裕三） 害鳥対策手数料というところで59万円減という、これは、鷹匠の回数を減らしたんでしょうか。

○委員長（藤原正光） 溝口課長。

○産業労働政策課（溝口尚美） ムクドリを追い払うための鷹匠の費用です。駅広場のムクドリが減っておりますので、通常5日間連続で実施しますが、3日間で切り上げた回がありましたので、その分を減額させていただきます。

○委員長（藤原正光） 山本委員。

○委員（山本裕三） また最近、わざわざ戻ってきたというところがございますので、また年度明けにはまたということで、情報提供でございました。よろしくをお願いします。

○委員長（藤原正光） 石川委員。

○委員（石川紀子） 鷹を始めたときに、南口の新幹線のほうですけれども、あちらのほうでもムクドリが多くなってきたように思いますが、南北両方やったか、退治したんでしょうか。

○委員長（藤原正光） 溝口課長。

○産業労働政策課（溝口尚美） 南口、北口共にやっています。最初は、2月中旬に3日連続で実施しました。南口に多かったですが、追い払いをしました。

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

○委員（石川紀子） はい。

○委員長（藤原正光） そのほかございますでしょうか。よろしいですか。

それでは質疑を終結します。

質疑が終わりましたので、ここで委員間討議をお願いしたいと思います。御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは、ないということで、委員間討議のほうを終了したいと思います。それでは討論はございますでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（藤原正光） ないということで、討論を終わります。それでは採決に入ります。

議案第49号 令和3年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第1号）について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

議案第49号については、全会一致にて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、議案第50号 令和3年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算（第2号）についてを議題とします。

それでは審査に入ります。産業労働政策課の説明をお願いします。

溝口産業労働政策課長。

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

ただいまの産業労働政策課の説明に対する質疑がございましたらお願いします。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それでは質疑を終結します。

質疑が終わりましたので、ここで委員間討議をお願いしたいと思います。御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（藤原正光） よろしいですか。

それでは委員間討議を終了します。

それでは討論はございますでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○委員長（藤原正光） なしということで、討論を終わります。

それでは採決に入ります。

議案第50号 令和3年度大坂・土方工業用地整備事業特別会計補正予算（第2号）について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（藤原正光） ありがとうございます。

議案第50号については、全会一致にて原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で環境産業委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

それでは3番に入りたいと思います。その他に入ります。

皆さんからその他はございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（藤原正光） それではなしということで、4番の閉会に移ります。

閉会に当たりまして、松浦副委員長より挨拶をお願いします。

○副委員長（松浦昌巳） 皆さん、お疲れ様でした。令和3年度の補正予算ということで、数としては少し少なかったかなと思っていますけれども、とにかく電気代のこと、それから減額されていることが、ちょっと極端だったかなというふうに思っています。また令和4年度以降の予算もこれから始まりますので、引き続き審議のほうをよろしくをお願いします。

以上をもちまして環境産業委員会を終了します。お疲れさまでした。

午後 1時35分 閉会